

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

日本大金星



【日本―ドイツ】初戦のドイツ戦で逆転勝ちし、大喜びする日本代表(共同)

Qatar2022
カタール大会
W杯

2-1、独を逆転

【ドーハ共同】サッカーのワールドカップ(W杯)カタール大会は23日、ドーハのハリファ国際競技場で1次リーグE組初戦が行われ、世界ランキング24位の日本が同11位で優勝4度のドイツを2-1で破る金星を挙げた。ドイツからは初勝利で、通算成績は1勝1分け1敗。W杯で優勝経験国と対戦するのは3度目で、初めて勝った。

日本が過去に出場した

8強へ期待膨らむ

日本が挙げた金星には計り知れない価値がある。経験豊富なGK川島が「初戦が大事。一つ目を落とすと精神的に難しくなる」と話したように、W杯のような短期決戦では初戦の結果でムードが決まる。勝てば自信をつかみ、1次リーグ突破に前進したことで心理的な余裕が生まれる。第2戦以降へ期待も膨らんだ。日本代表の8人はドイツでプレーしている。W

6大会で、初戦で勝ち点を獲得した2002年日韓大会、10年南アフリカ大会、18年ロシア大会はいずれも16強入り。10年大会覇者のスペインも入るE組の突破へ、最高のスタートを切った。

過去最高を上回る8強以上を目指す日本は、27日午後1時(日本時間27日午後7時)からコスタリカ、12月1日午後10時(同2日午前4時)からスペインと対戦する。

杯を4度制した強豪ドイツの実力を知った上で「付け入る隙はある」と鎌田は言っていた。対戦前からの気後れは全くなかった。欧州でもまれた選手が居る日本にとって、番狂わせではあっても決して偶然の幸運ではない。厳しいE組でも「8強以上の目標は変えない」と強気だった森保監督。その自信が、確信に変わった。(共同)